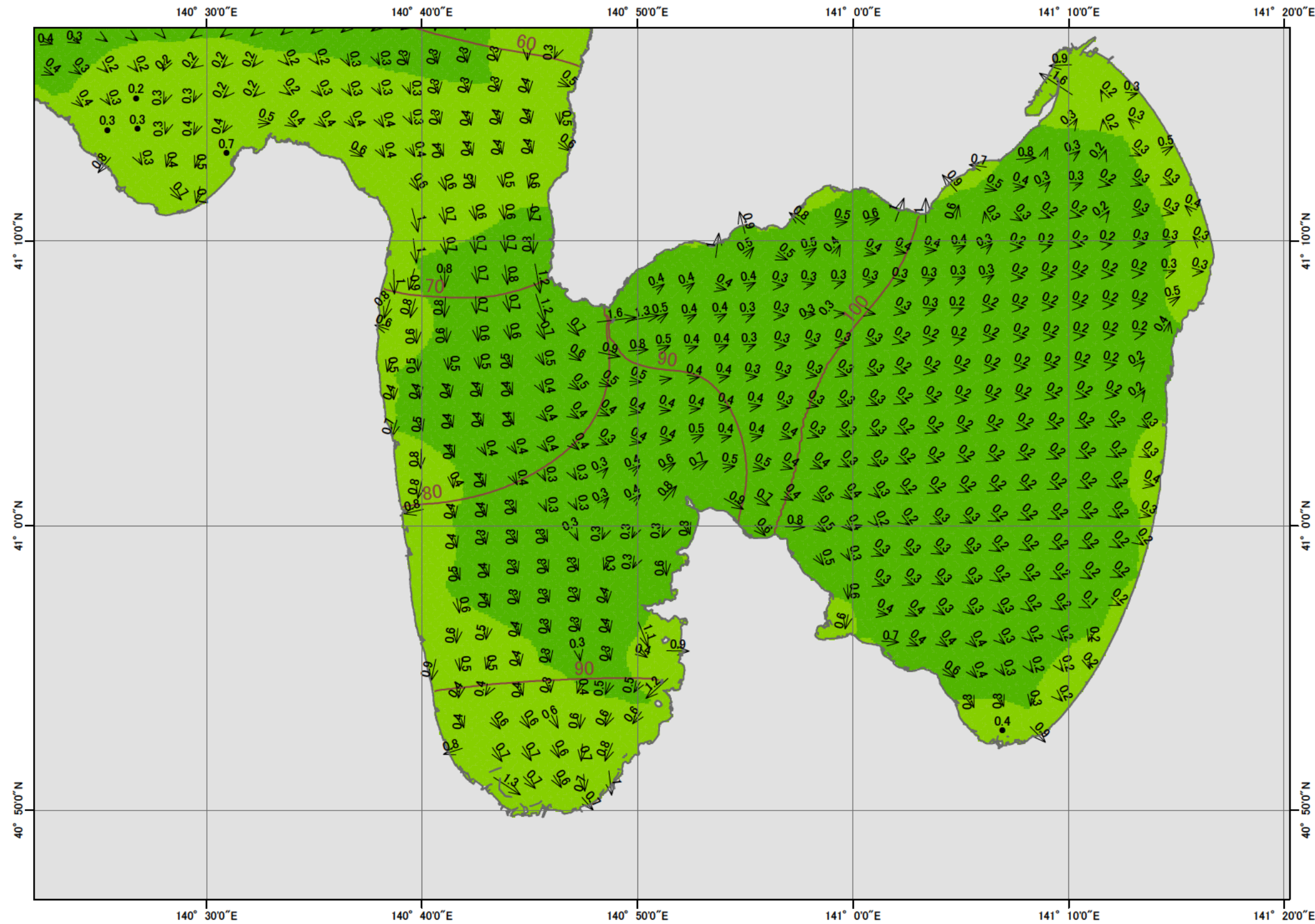




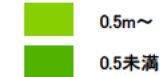
計算条件： 最高水面 (零位)
隆起量： 平均 -0.14m (-0.27m ~ -0.05m)
Zo： 0.37m
備考： 本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものとは異なることがある。



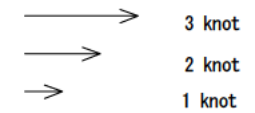
凡例

— 水位上昇(+10cm)となる等時線[分]

最大水位上昇

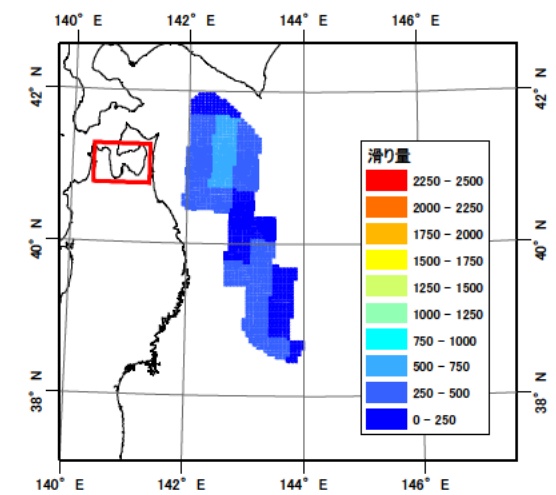


進入時最大流 [knot]



- 流向、流速の表示については、陸岸から概ね500m以上の地点から表示した。
- 流向変化が激しく、進入・引潮等の判別が困難な区域では、流速のみを表示した。
- 津波の到達時間は、水位が最高水面から10cm変動した時点を出し、地震発生から100分までを表示した。

断層モデル



三陸沖北部地震

モーメントマグニチュード Mw 8.4

本断層モデルは、平成18年に中央防災会議「日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震に関する専門調査会」により公表されたものである。

○ 本図の作成にあたっては、「津波解析支援GISシステム (ArcGIS 10 対応)」を使用した。
○ 本図の作成にあたっては、以下の資料を使用した。
・海上保安庁が保有する水深データ

